

福島県酪農経営負担軽減対策事業

令和5年度12月補正(追加)
事業費 154,600千円

【ポイント】

- 飼料価格の高止まりの影響を受け、酪農経営は厳しい状況である。
- 配合飼料が高止まりする中でも持続的に安定した酪農経営ができるよう、従来型の配合飼料多給により生乳を生産する飼養管理から、生乳生産コストの低減が期待できる泌乳持続性の高い（泌乳量が安定して続く）酪農経営への転換を図る必要がある。

【目標】 泌乳持続性の向上＝経産牛1頭当たりの産次数増加（生産寿命延長）

【事業の内容】

泌乳持続性アップに資する8つの取組メニューから3つを行う酪農家に対して支援する。

＜取組メニュー＞

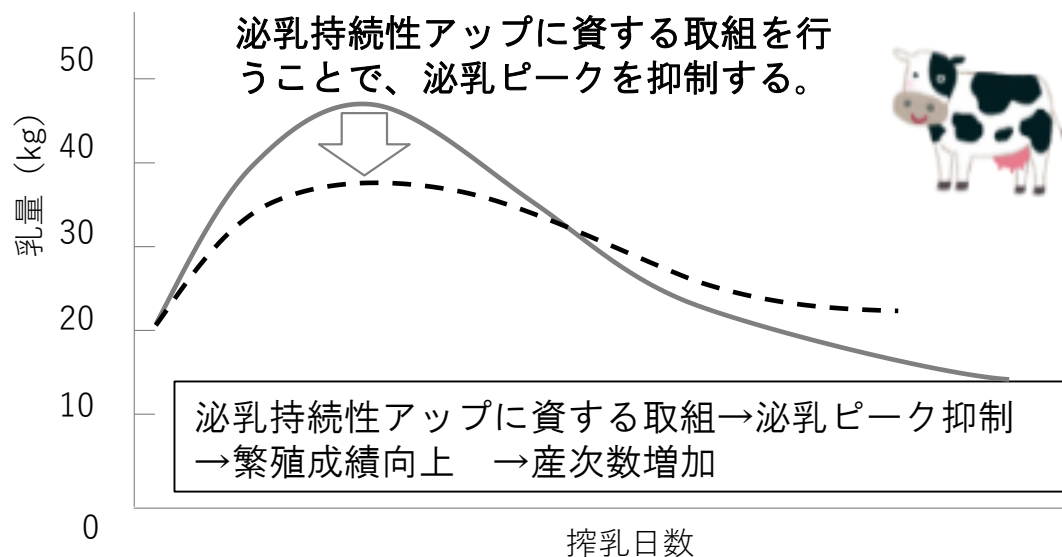
- ①飼料用トウモロコシ利用
- ②牧草の作付面積拡大
- ③良質堆肥の有効活用
- ④飼料成分分析に基づく飼料設計の改善
- ⑤牛群検定を活用した生産性の向上
- ⑥多回給餌
- ⑦乳酸菌、アミノ酸等の飼料添加物の利用
- ⑧飼養環境の向上

- ▶3つのうち1つ以上は新たに取り組むこと
- ▶3つの取組を行うことにより産次数の増加を目標とした事業計画を作成すること

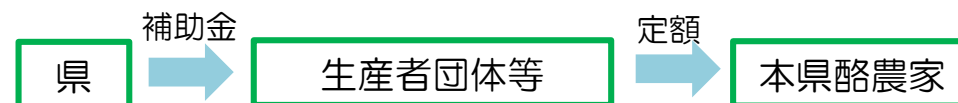
・対象：本県酪農家（生産者団体等経由）

・補助単価：経産牛1頭当たり20,000円

【事業のイメージ】



【事業の流れ】



【お問い合わせ先 福島県畜産課 024-521-7365】